

佐藤誠七
議員



活力ある元気なまちづくりについての現状と課題

町長 耐震補強が必要な学校は改修工事に努める

道路補修を早急に行うべき

佐藤 下水道工事などが行われた後の町道の損傷が多く見受けられ、各地区より整備の要望が出されていると思うが、どのように整備をすすめていくのか伺います。

町長 町道整備の要望は、町民の方々から数多く寄せられ、維持補修の必要性は十分わかっていっているので危険度、優先度を決めながら、必要性を精査し、予算の対応をしていきます。

小中学校の耐震診断の結果は

佐藤 小中学校の耐震診断調査が昨年度に行われたが、結果はどのようになっていますか

るか伺います。

町長 昭和58年以前に建設された番桑、東根、西、東の小中学校4校を、一番精度の高い診断を行いました。結果は、震度5程度までは、倒壊の恐れはない。しかし、調査した全ての体育館と西、東中の校舎は何らかの耐震補強が必要であるので、改修工事の実施に向けて努めていきます。

鮎貝まちづくり事業の

一般向け分譲の見通しは

佐藤 鮎貝土地区画整理事業地内の組合保留地の一般向け分譲の見通しはどうか伺います。

町長 保留地の販売は、平成16年10月から開始し、イベントやPRを行い販売促進を行ってきたが、一般保留地の販売は69区画中8区画と厳しい状態です。今

魚道を造り魚を取り戻せ

佐藤 町内の河川には、氾濫防止のため落差工が設置され、魚が遡上できない箇所が見受けられます。環境、親水や自然回帰が叫ばれている今日、町が中心となり、魚道設置を行うべきと思うがいかがですか。

町長 魚道の設置は、河川域の町民の方からも要望が出されているので、県当局に対し、河川に魚が戻るなどの自然回帰に向けた要望を行います。



ボランティアによる河川清掃